

平成 15 年 10 月 8 日

各 位

東京都渋谷区渋谷 1 丁目 17 番 8 号
日本エンタープライズ株式会社
代表取締役社長 植田 勝典
(コード番号 4829 ヘラクレス市場)
問合せ先 経営企画・IR 室長 中村次郎
(<http://www.nihon-e.co.jp/ir/index.html>)
(TEL 03 - 5774 - 5730)

中国ビジネスの現状及び今後の展開について

1. 中国のコンテンツビジネスの現状について

当社は、2002 年 6 月、中国北京市に現地法人を設立し、2003 年初めより、中国移動通信向けの、待受け画像、着信メロディー等のコンテンツ配信に注力してまいりました。中国内の携帯電話ユーザーに対して、付加価値の高いコンテンツの提供を行なうと同時に、様々な経験・ノウハウの蓄積を行なってまいりました。

有料コンテンツ会員数は、2003 年 7 月末 175,000 人(実績)、8 月末 280,000 人(実績)、9 月末 450,000 人(見込み)と順調に推移しております。今後も、更にマーケティングに注力し、JAVA ゲームを中心に、ユーザーニーズに合致したコンテンツの配信を行ってまいります。

2. 上海市での今後のビジネス展開について

現在の北京市現地法人に加えて、今後は上海市にも事務所を設立し、中国でのビジネスの拡大を図ってまいります。現在、市場調査実施中であり、終了次第、上海事務所を設立する予定でございます。上海を中心にビジネスを展開している中国及び日本の大手企業を顧客対象と致します。当初はモバイルでのカンパニーサイト、キャンペーンサイト構築、運営を手掛ける予定であります。これまでの B to C 事業に加えて、B to B to C 事業を確立すべく取り組んでまいります。

当社は、中国を海外事業における中核と位置付け、今後もリスクを勘案しながら、積極的に事業展開を図ってまいり所存であります。

以 上